

第70回福島県総合体育大会バスケットボール競技〈成年男子決勝戦評〉

日時 平成29年7月10日（月）14：30～

場所 あいづ総合体育館

FLASH — 福島教員A

第1P、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタートする。FLASHが#24のスピードあるアウトサイドで先取すると福島教員Aは#6が得意の3Pを決める。そこからFLASHが2P、福島教員Aが3Pを入れ合うゲーム展開で12対8。流れが大きく変わったのは残り5分、福島教員Aがセンターへのダブルチームでパスミスを誘い、3Pを連続で決め18対8と大きくリード。福島教員Aの3P6本連続という驚異的なシュート力を見せつけられ、FLASHはたまたまタイムアウト。その後流れは変わらず、福島教員Aは激しいディフェンスからの速攻、#6の3Pなどで点差を広げ31対15で終了。

第2P、福島教員Aは#6の5本目の3Pが決まるとさらに勢いに乗り41対17と引き離す。FLASHは福島教員Aの固いディフェンスに阻まれ3分間ノーゴール。残り6：49でFLASH2回目のタイムアウト。なんとか流れを変えたいFLASHは1-2-2のゾーンプレスを試みるが福島教員Aの巧みなパスワークで崩されてしまう。FLASH#41がエースの意地を見せアウトサイドやドライブインで得点するも点差は縮まらず61対26で終了。

第3P、後半も福島教員Aのシュートが落ちない。#4のアウトサイドを中心に確実に得点につなげる。FLASHは福島教員Aの粘り強いディフェンスを前に攻撃に苦しむ。#22がゴール下の力強いプレーで得点するが、差は広がり89対41で終了。

第4P、FLASH#7が果敢にオフenseリバウンドに飛び込み、#24を中心に得点を重ねるが、差を縮めることができない。安定した得点力で終始相手に主導権を譲らなかった福島教員Aが107対63で優勝した。登録した全選手が出場し、終始走るバスケットと高いベンチワークを見せた福島教員A。一方、準決勝で接戦の末決勝に駒を進め、疲労困憊の中最後までルーズボールを追い果敢にゴールを攻めたFLASH。観客に大きな刺激と感動を与えた両チームの健闘を称えたい。

（ 保科 愛 ）